

優秀賞

## 心のつながりを大切に

香川県 直島小学校 六年  
爲平 彩乃

私の住んでいるところは香川県の離島、直島<sup>なほしま</sup>という場所です。世界各国からたくさんの人々がアート鑑賞に訪れます。最近では、若い移住者も増えてきました。しかし、お年寄りや年配の一人暮らしの方も多くいらっしゃいます。

私は小さな頃から、生活の一部としてアートに触れ合いながら育ちました。その直島の中でも、私が住んでいる場所はお年寄りの方が多く住む、静かで落ちついた地域です。

先日、ご近所のおじいさんが道路の小さな段差でつまずき、転んでしまいました。ちょうど母がそれに気づき、手当てをして助けました。幸いにも大きなけがはなく、母が支えて自宅まで送りどけました。また別の日には、暑さのため具合が悪くなってしまったお年寄りの方を、病院まで送っていました。さらに季節の変わり目には、エアコンフィルターのそうじやちょっとした買い物、さまざまなお手伝いを頼まれることもあります。

母も仕事がいそがしく、ゆっくりできていないと思います。それでも母は声をかけられると、笑顔で対応しています。それを見て私は、なぜ母はここまで大変なことをするのか、と不思議に思いました。そこで、一度母に聞いてみました。

「どうして、大変なのにそこまでするの。」

すると母は、

「毎日の生活の中で、お互い助け合える関係が幸せなのよ。そして、自分が困ったときに、いつでも相談に行ける関係性があるのは、とてもありがたいことなのよ。」

と話してくれました。母の気持ちの中には、もしかすると何かあったときに、私が頼れる関係性のことも考えてくれているのかもしれませんが。

一人暮らしの方やご近所の方が時々、母のもとを訪れます。母といろいろな話をして笑顔で帰ってきます。それを見て私は、心の触れ合いがとても大切だなと思いました。

直島での生活は、ご近所の方の畑でとれた新鮮な野菜や、海でとれた魚をいただきます。そのため、私の毎日の食卓には、豊富な食材が並びます。私はいつも、いただけることに感謝しながら食べることにしています。地域のおじさん、おばさんも私が小さな頃から知っているので、本当の祖父母のように接してくれます。

また、子どもたちが安全に通学できるように、地域の方が毎日見守ってくださっています。私が転んでけがをしてしまったときには、すぐに気づいてやさしく手当てをしてくださいました。改めて考えてみると、直島ではみんながお互いに助け合って生活しているのだと気づきました。

母のように、相手に対する小さな思いやりの積み重ねが大きなやさしさになり、心を温かくします。みんなが心地よく安心して暮らしていける環境を作ることは大切なことで、社会の課題でも感じました。

これからは、私も困っている人のためにできることを見つけ、実行してみたいと思います。